

Markdown CSS

4I14 黒江 遺産

2024年10月8日

Visual Studio Code の拡張機能「Markdown All in One」により Markdown から生成した HTML に対して適用するための CSS である。レポートの作成に使用することを想定している。



- デモ
- インストール
- 設定
- 使用方法
- 独自の要素
- 置換
- 注意
- 記法
- 例
 - 数式
 - 2カラム
 - 画像
 - Mermaid

デモ

- Markdown
- HTML
- PDF

インストール

- [Markdown All in One](#)
- [Markdown Preview Mermaid Support](#) (for Mermaid ダイアグラム)
- [Markdown Emoji](#) (for 絵文字)
- [Markdown Footnotes](#) (for 脚注)

設定

`Ctrl + ,` により VSCode の設定を開き、拡張機能 Markdown All in One について次のように設定する。

```
{  
  "markdown.extension.print.absoluteImgPath": false,  
  "markdown.extension.print.includeVscodeStylesheets": false  
}
```

使用方法

次のコードを Markdown の先頭に貼り付ける。

```
<link rel="stylesheet" href="https://cdn.jsdelivr.net/gh/kuroyei/Markdown-CSS/sindresorhus_github-markdown-  
css_github-markdown-light.css">  
<link rel="stylesheet" href="https://cdn.jsdelivr.net/gh/kuroyei/Markdown-CSS/style.css">  
  
<style>  
:root {  
  /* 基本的なフォントファミリー */  
  /* --font-base: ; */  
  
  /* 等幅フォントファミリー */  
  /* --font-code: ; */  
  
  /* コードブロックのフォントサイズ */  
  /* --font-size-codeblock: ; */  
}  
</style>
```

① Note

自分でフォント等を変更したい場合は `<style>` を編集する。

独自の要素

- 文書名・著者名・日付

```
<h1 id="title">  
Markdown でレポートを書こう  
</h1>  
<address id="author">  
  <span class="mono">4I14</span> &emsp; 黒江 遺産  
</address>  
<time id="date">
```

2024年10月8日

</time>

- 等幅フォントで表示

`class="mono"` を指定する。

- 2カラム

```
<div class="column-wrapper">
  <div class="column-left">
    左側のコンテンツ
  </div>
  <div class="column-right">
    右側のコンテンツ
  </div>
</div>
```

- 途中で改ページさせない

```
<div class="avoid-break">
  印刷時に改ページさせたくないコンテンツ
</div>
```

- その場で改ページする

```
<div class="break-after"></div>
```

置換

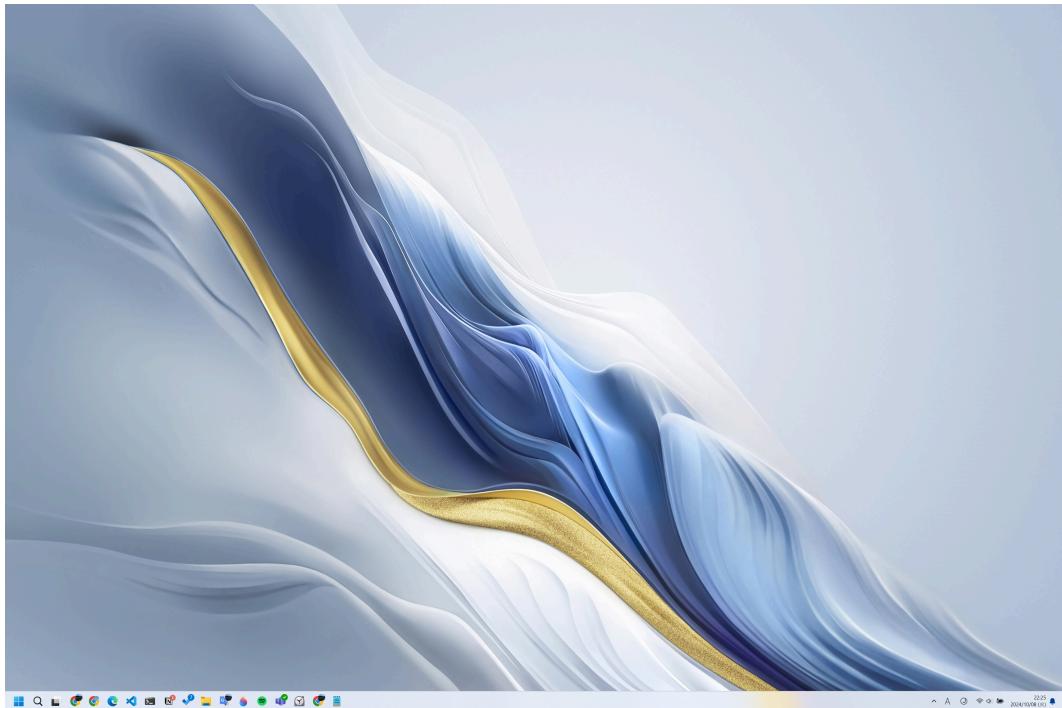
① Note

[.*] は正規表現を用いることを意味する。

- 画像

画像の幅を調整できるようにする。また、画像の下にキャプションが表示されるようにする。

画像



ぱそぱそ

Mermaid

くろえいさん はいつも次のような流れでレポートを執筆しています。

